

出前講演を開催しています！

埋蔵文化財センターでは、鳥取県の考古学について広く情報発信するため、職員（文化財主事）が各地に出向き、「出前講演」を行っています。各種研修会や地域の歴史学習などでぜひご活用ください。

●テーマの一例紹介

「弥生時代の土器について」

〈概要〉

弥生土器は、製作技術のうえでは先行する縄文土器と基本的に同じです。しかし、背景となる社会が、それまでの狩猟漁撈中心の社会から稲作中心の社会へと移行したため、生活用具である土器の種類や形、文様に変化が起きました。

こうした暮らしや社会の変化が土器にどのような影響を与えたのか、詳しく解説します。

●担当者からひとこと



文化財主事
濱本 利幸

発掘調査で数多く出土する土器には、集団や地域の個性、交流の様子も刻まれています。土器に残された匠の技を通じて、弥生人たちの暮らしや社会と一緒に考えていきましょう！

- 出前講演はホームページでもご案内しています。
<http://www.pref.tottori.lg.jp/28013.htm>
- 講演の実施に当たっては、次の点にご注意ください。
 - ・講師への謝金は不要です。（旅費については要相談）
 - ・会場の準備や会場使用料などの経費負担は、申込者にてお願いします。

平成27年度新指定
県保護文化財

豊成叶林遺跡出土 旧石器時代遺物一括

平成27年9月11日に鳥取県保護文化財に指定された、豊成叶林遺跡（大山町豊成）の旧石器時代の遺物を紹介します。



豊成叶林遺跡は、平成23年度に行った発掘調査によって明らかにされた約3万年前の遺跡です。狩猟に使ったナイフ形石器や石器づくりの過程で生じた石くず類が265点も出土しました。石材は2種類あり、島根県松江市玉湯町の花仙山周辺で採れた玉髓と、隠岐島産の黒曜石と考えられています。

フェイスブックもご覧ください！

発掘調査のタイムリーな情報や、遺跡を活用した楽しい取り組みなどを紹介中ですので、ぜひご覧ください。アドレスはこちら▶<https://www.facebook.com/tottorimaibun>

Book Reviews

ブックレビュー

埋蔵文化財センターの販売図書の中から、おすすめの本を紹介します。
※販売図書情報はホームページでもご案内しています。
アドレス▶<http://www.pref.tottori.lg.jp/247252.htm>

青谷上寺地遺跡フォーラム2011

弥生・骨角器サミット

～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる～

遺跡に眠る骨角器が物語る暮らしと交易の姿。弥生人の息づかいを鮮やかに描き出す必読の1冊！



- A4判／本文50ページ／383g
- 価格：400円
（送料：1冊の場合300円）

動物の骨や角、歯牙などを加工して、主に銚頭や釣針といった漁労具として利用された骨角器。「地下の弥生博物館」と呼ばれる青谷上寺地遺跡から出土した骨角器は、鉄器を用いた高度な製作技術や、朝鮮半島や北部九州などとの活発な交流の歴史を鮮やかに蘇らせる。

骨角器の生産・流通の実像を通じて、ものづくりと交易の拠点としての青谷上寺地遺跡の姿はもちろん、海の恵みと共に暮らした弥生の人々の息づかいまでも生き生きと描き出す、必読の1冊！

「鳥取県の考古学」シリーズ

- ①第2巻 弥生時代Ⅰ 稲作と暮らし
- ②第3巻 弥生時代Ⅱ 戦いと交流 墓とまつり

稲作や鉄が暮らしや社会に与えた変化とは？歴史の謎を解き明かす考古学ファン必読の2冊！

弥生時代は、稲作や青銅・鉄の文化が大陸から伝えられたことで、人々の暮らしや社会の構造が大きく変化した激動の時代。食糧の生産や備蓄が可能になったとき、人々の思考や行動には何が起こったのか。それは中央に強大な権力が現れる次の時代にどうつながるのか。歴史の謎を初心者にも分かりやすく解き明かす、知的刺激に満ちた考古学ファン必読の2冊！

- ①●A4判／本文55ページ／333g
●価格630円（送料：1冊の場合300円）
- ②●A4判／本文56ページ／338g
●価格280円（送料：1冊の場合300円）

